

## 【NEWS RELEASE】

2020年1月31日

各位

株式会社三井住友銀行

日本自動ドア株式会社に「SMBC事業継続評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本自動ドア株式会社（代表取締役社長：吉原 二郎）に「SMBC事業継続評価融資」を実施いたしました。

「SMBC事業継続評価融資」は、MS&ADインターリスク総研株式会社（代表取締役社長：中村 光身）（ 1）と三井住友銀行が共同で開発した独自の評価基準に基づき、企業の事業継続計画（BCP）（ 2）策定を含む事業継続マネジメント（BCM）（ 3）の状況および事業継続マネジメントシステム（BCMS）（ 4）の構築・運用状況等を評価し、事業継続における今後の改善余地や取組のポイントについて、MS&ADインターリスク総研株式会社より還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました日本自動ドア株式会社の事業継続への取組に対する評価では、特に以下の点等が評価の対象となりました。

全国の各拠点の自然災害リスクを網羅的に把握するために、独自のシステムを構築している点  
BCMに関する年間整備計画を策定し、災害用備蓄品の配備や業務のバックアップ体制の構築等を計画的に進めている点

自社ホームページ上で、「BCM（事業継続マネジメント）への取り組みについて」の文書を掲載することで、BCMに継続的に取り組んでいることを社外に対して正式に公表している点

三井住友銀行では、「SMBC事業継続評価融資」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組を金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



BCM 定例会議



避難訓練

<ご参考>

1 MS & ADインターリスク総研株式会社

MS & ADインシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持ち、事業継続分野の国際協会であるBCI（事業継続協会）の日本支部において中心的な役割を担っている。

2 事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」若しくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

3 事業継続マネジメント（BCM：Business Continuity Management）

組織への潜在的な脅威、及びそれが顕在化した場合に引き起こされる可能性がある事業活動への影響を特定し、主要な利害関係者の利益、組織の評判、ブランド、及び価値創造の活動を保護する効果的な対応のための能力を備え、組織のレジリエンスを構築するための枠組みを提供する包括的なマネジメントプロセス。

4 事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business Continuity Management System）

BCPをもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組のこと。BCMSは、BCPの策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組が効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためにはPDCA（Plan Do Check Action）を実現するマネジメントが要求される。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。